

令和4年度交付金事業に係る評価専門委員会の開催結果について

1 開催概要

千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 第5に規定する交付金事業については、事業実施後に県が効果検証・評価を実施することとされており、学識経験者等の第三者から構成される専門委員会*において、事業年度ごとに評価を実施しています。

令和4年度交付金事業に係る専門委員会は令和5年7月26日に開催し、各事業実施団体から説明を行った上で、委員から評価・助言を頂きました。

※地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業評価専門委員会…交付金事業の効果検証・評価を実施することを目的として、プラットフォーム会議内に令和3年6月に設置。

【委員名簿】

区分	委員	備考
学識経験者	宮本 みち子	放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授
経済団体	高橋 秀穂	一般社団法人千葉県経営者協会専務理事
労働団体	中島 正敏	日本労働組合総連合会千葉県連合会事務局長
行政機関	山田 匡彦	千葉労働局職業安定部職業安定課長

2 評価対象事業

No.	実施主体		事業名
1	千葉県	(雇用労働課)	ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業
2	船橋市	(商工振興課)	ふなばし地域若者サポートステーション事業
3	松戸市	(商工振興課)	就職氷河期世代キャリアチャレンジ事業
4	柏市	(商工振興課)	若者(就職氷河期世代)就労自立支援事業
5	流山市	(商工振興課)	就職個別相談「就職氷河期世代コース」事業

※各事業の概要及びKPIの達成状況は5を参照。

3 専門委員会における主な意見(要旨)

- ・委託事業者と定期的に進捗状況の共有を行い、その中で改善すべき内容があれば改善してもらいたい。
- ・求人と求職のミスマッチ解消のところに課題があると感じており、御自身が引きこもりなどでなくても、親の介護などの事情がある方などもいるので、こうした方にも柔軟に対応していく必要があり、企業側の工夫も必要。
- ・コロナ禍が原因で生活維持を優先して非正規での就職に至った方について、元々は正規雇用を望んでいるということであれば、例えばオンラインでの相談に力を入れるなど、引き続き支援をお願いしたい。
- ・就職氷河期でうまく仕事に就けなかった人に、「特別に支援をしてなんとか安定した仕事に就いていただこう」という単純な発想ではなく、その年代の方々の多様な実態を把握することが必要ではないかと感じる。
- ・就職氷河期世代支援は、数少ない中年期世代への支援として画期的なものだが、今までに増して連携体制が重要であり、障害・医療・福祉その他、地域の多様な専門機関と連携し、ある程度時間をかけることが必要。

4 今後の対応等

国の就職氷河期世代支援は、令和4年度までの「3年間の集中的な支援」とされていたところですが、「骨太の方針2022」の中で「令和5年度からの2年間で「第二ステージ」と位置付け、これまでの施策の効果も検証の上、効果的・効率的な支援を実施し、成果を積み上げる。」とされ、継続の方針が示されているところです。

これを踏まえ、専門委員会の各委員からの意見・助言を基に、関係機関との連携をより一層強化し、各事業実施団体において、多様化する就職氷河期世代の課題や適性を考慮した丁寧な支援に引き続き努めてまいります。

5 各事業の概要及びKPIの達成状況等

(1) 千葉県実施事業

【事業名】 ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業

【事業概要】 各種プログラム（社会人基礎力向上研修、企業との交流会等）の実施、一人ひとりのニーズに合わせた就職先の紹介など、きめ細かい就職支援を実施する。併せて、企業への受け入れ体制構築に向けた支援や就職後の定着支援を行う。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度の 増加分累計
KPI①： 本事業新規利用者数（人）	目標	100	400	400	900
	実績	130	402	462	994
KPI②：本事業による就職決定 者数（非正規を含む）（人）	目標	20	200	200	420
	実績	15	104	228	347
KPI③： 本事業への参加企業数（社）	目標	20	150	150	320
	実績	37	165	151	353

【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由（令和4年度）】

（※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合）

・該当なし。

【事業の実施状況及びその成果】

- ・個別相談：1,749名参加
- ・就職支援講座：延べ22回実施、143名参加
- ・企業との交流会(合同説明会)：10回実施、239名、80社参加
- ・企業向けセミナー：6回実施、34社、36名参加
- ・職場見学・企業実習：30名、23社参加
- ・広報活動実施（市町村、労働局、県出先機関、就労支援施設、職業訓練校、相談機関、JR駅、関係機関に約6,000部チラシ配架、ちいき新聞にチラシ折込み、県HPに掲載、県広報Twitter、県内企業にDM及びチラシ配布、千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員との連携・協力による周知、など）

これまで積み重ねた事業ノウハウを活用し、職業訓練校における事業周知の徹底、集客力のあたるアクセスの良いイベント開催会場の選定、開催日時の調整により、参加者の増加につながった。また、利用者に対してカウンセラーからの定期連絡、進捗確認を行うことで活動停滞を防ぐとともに、利用者に寄り添ったカウンセリングを行い意欲喚起を図ることで多くの就職決定につながった。

(2) 船橋市実施事業

【事業名】 ふなばし地域若者サポートステーション事業

【事業概要】 「ふなばし地域若者サポートステーション」に、専任のキャリアコンサルタントを配置し、就職氷河期世代への支援を実施する。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度の 増加分累計
KPI①：就職氷河期世代無業者の非正規雇用を含む就職率（新規登録者数に対する就職に至った者数の割合）（％）	目標	35	35	35	35
	実績	37.5	62.1	82.7	60.8

【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由（令和4年度）】

（※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合）

- ・昨年度から継続して支援している方が就職に結びついたことが原因と考えられる。

【事業の実施状況及びその成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響下においても就労支援を継続することとしたため、就労を希望する方が自身の希望に沿った進路を決定することができ、目標（KPI）を達成することができたと考えている。
- ・企画・募集したものの参加者が無いイベントもあったため、今後はより参加しやすい日程・魅力的なイベントとなるよう検討していく。

【参加実績】

- ・合同就職フェア：10名
- ・キャリアコン面談：63名
- ・所長面談：29名
- ・職業人講話：0名
- ・職場見学：4名
- ・パソコン講座：31名
- ・イベント、ボランティア活動：1名
- ・保護者サポート：4名
- ・学び直し支援：0名
- ・保護者の会：5名
- ・土曜相談：4名
- ・個別相談会：5名

（3）松戸市実施事業

【事業名】 就職氷河期世代キャリアチャレンジ事業

【事業概要】 正規雇用を希望する松戸市内の求職者が短期間のインターンを通じて新しい仕事・会社にチャレンジできる機会を提供する。また、市内の企業を開拓し、年齢に関係なく挑戦できる機会を与えるとともに、インターン就業を通じて、双方のミスマッチを解消する。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度の 増加分累計
KPI①： 事業参加者数（人）	目標	(※令和3年度 から事業実施)	150	150	300
	実績	—	195	335	530
KPI②： 正規雇用就職者数（人）	目標	—	30	30	60
	実績	—	7	31	38

【目標値と実績に乖離*がある場合の主な理由（令和4年度）】

(※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合)

- ・(KPI①) 前年以上にハローワークや地域若者サポートステーションとの連携を密にすることによって、幅広い求職者を事業に誘導することができ、参加者数・正規雇用就職者数を増加させることができたと考えられる。

【事業の実施状況及びその成果】

1 マッチングイベント

- (1) 第1回 令和4年9月23日（金・祝） 参加者数29名、出展企業13社
- (2) 第2回 令和5年2月23日（木・祝） 参加者数65名、出展企業16社

2 セミナー

- (1) 就職支援セミナー 全10回 参加者数79名
- (2) ビジネスPCセミナー 全8回 参加者数56名

- ・マッチングイベント合計参加者 94人
- ・セミナー合計参加者 135人
- ・個別相談延べ人数 106人
- ・就職者数（内定含む） 31人

令和3年度については、マッチングイベントの出展事業者に業種の偏りが出てしまい、その結果、正規雇用就職者数が、目標値を大幅に下回る結果となってしまったため、令和4年度については年度早々のタイミングで、様々な事業者にこちらからアプローチすることで、様々な業種・職種の実業に出展してもらうことができ、それが正規雇用就職者数のKPIを達成できた一因であると考えている。

(4) 柏市実施事業

【事業名】 若者（就職氷河期世代）就労自立支援事業

【事業概要】 「かしわ地域若者サポートステーション」において、就労開拓支援員の増員や就職氷河期世代を対象としたキャリア開発プログラムを実施する。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度の 増加分累計
KPI①： 就職氷河期世代利用者数（新規 登録者数）（人）	目標	30	35	40	105
	実績	20	28	23	71
KPI②：就職氷河期世代の就職 等（非正規雇用、進学を含む）決 定数（人）	目標	15	20	25	60
	実績	6	16	13	35
KPI③：就職氷河期世代無業者 対象協力企業開拓数（就労およ び職場体験の受け入れ先企業 延べ数）（社）	目標	15	25	30	70
	実績	66	100	30	196

【目標値と実績に乖離*がある場合の主な理由（令和4年度）】

（※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合）

- ・（KPI①）感染症の影響により、引き続き外部向けイベント等の集客が伸びなかった。地域連携は深まったものの、引きこもり傾向が強い層に対して十分なアプローチ方法を見いだせなかった。地域包括支援センターや民生委員との連携による掘り出しが不十分だった。
- ・（KPI②）40歳代登録者が2極化しており、就職準備ができていない層については、サポートステーションに登録しても自ら就職活動を行うとの理由で離脱する方が多かった。もう一方の層は、医療的問題や生活問題を抱えており就労が困難であった。

【事業の実施状況及びその成果】

- ①氷河期世代応援セミナー（5回）参加者 15名
- ②PCセミナー全27回（基礎編5日コース×5回、活用編2日コース×1回）参加者 34名（全体の65.6%）
- ③職場見学 個別同行7回7名、職場見学ツアー1回5名
- ④トレーニング 作業系延べ28名、PC系130名

氷河期世代応援セミナーは、ハローワーク（ジョブパーク柏内）の広報、ジョブパーク柏においては会場で連携、相談員から雇用保険受給中の方は除き個別に案内いただく等行ったが、十分な掘り出しができなかった。今後は8050問題を考慮し地域包括支援センターとの連携を深めていく。

また、作業トレーニングは若い世代と同じ場での参加を躊躇する方も多かった。なお氷河期世代にはPC学習ニーズが高く過去にPC講座からの登録が多かったが、本年度は個別のPCトレーニングの方が参加が多かった。氷河期向けに限定せずマイペースでできることが受け入れやすいと考えられる。

柏商工会議所等商工団体と連携し、市内零細企業へのPRを図る。

（５）流山市実施事業

【事業名】 就職個別相談「就職氷河期世代コース」事業

【事業概要】 専門キャリアカウンセラー1名を流山地域職業相談室に配置し、正規雇用を目指す就職氷河期世代に対し、個別相談、職業適性検査、パソコンスキルアップ講座、メンタルサポート、就職後のフォローアップを実施する。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度の 増加分累計
KPI①： 対象の就職率（％）	目標	(※令和3年度 から事業実施)	30	30	30
	実績	—	56.6	76.7	66.7
KPI②： 対象の正規雇用率（％）	目標	—	30	30	30
	実績	—	33.3	33.3	33.3
KPI③： 対象の相談者数（人）	目標	—	30	30	60
	実績	—	53	43	96

【目標値と実績に乖離*がある場合の主な理由（令和4年度）】

(※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合)

- ・(KPI①) 生活を維持するための相談者が多く、その中でも早期に就職に至るためにあえて正規雇用ではなく非正規雇用を希望する相談者の割合が多かったことから、実績値が目標値を大きく上回った。

【事業の実施状況及びその成果】

<ul style="list-style-type: none"> ・心理カウンセラーの資格を有した専門キャリアカウンセラーを配置し、メンタルサポートを強化。 ・「パソコンスキルアップ講座」を相談者に無料で実施。1回の講座が1日3時間で2日間実施するもので、相談者のパソコンスキルに応じて講師がマンツーマンで指導。令和5年3月末時点で29名に対し実施。
